

子どもと過ごす
時間を田舎で実現。
今風移住スタイル。



たさき しゅん
田崎 駿 さん(30代)

<柳津町>

会社員(製造関係)
(就業)

2021年 Uターン

家族の時間のためのUターン

『柳津町はおよそ1200年の歴史がある福満虚空蔵尊の周辺を中心とした町なかと、山間部の農村地がある町です。役場近くには朝早くから開いているスーパーや診療所、道の駅などコンパクトなエリアに重要な役割の機関が揃っています。農業のイメージが少ない柳津町ですが、山間部では米作りや花きの栽培が行われており、のどかな風景が広がっています。』

田崎さんは2021年12月に柳津町にUターンしましたが、約10か月ほど育児をして過ごしました。移るまでの思いやきっかけ、柳津町に移っての生活や町の魅力などをご自宅にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年11月9日

移住のきっかけと育児中心の生活

<移住のきっかけ>

直接のきっかけは2人目の子どもができたことです。埼玉県に住んで都内の仕事場に通っていたのですが、2交代の夜勤のある仕事でしたので、夕方出て行って朝帰ってくるか、早朝に出て夜に帰ってくるか、と一日の朝晩どちらかが子どもに会えない状態でした。妻も忙しい仕事をしていたので大変だったと思います。

そこに2人目ができて、妻が産休を取ったとしてもこれ以上この生活は無理だなと。子どもの成長をちゃんと見れないような生活は違うと思い、妻と相談し実家にUターンすることを決めました。その頃、責任のある役職についていたので、会社に「子育てのために実家に帰ります」と言った時は「冗談でしょ?」とか驚かれ、引き止められましたよ(笑)

<柳津町での生活>

柳津町に移ってから2人目が産まれたので、最近まで育児に専念していました。うちは両親がまだ仕事に出ていて、80歳過ぎのおばあちゃんもいる3世帯家族です。家のすぐ隣にはおばあちゃんの趣味の畑もあって、長女は手伝いという名の畑遊びを覚えました。おかげで食べ物の好き嫌いがなくなった気がします。

長女は町の保育園に行っていて、友達もたくさんできました。たくさんと言っても23人くらいの保育園ですが、スゴく楽しそうです。



私が家に居る時は育児や家のこともしますが、パンを焼いたりすることもあります。仕事をしていた時には出来なかった幸せな時間を過ごしていると実感できています。ただ、実家に居て気がついたのですが雪に関するイベントが多いな、と。例えば家の雪囲いだったり、庭の木の雪吊りだったり、春になれば片付けが必要になります。これは大人になって両親はこういう仕事をしてくれていたんだ、とわかりましたね。

<仕事のこと>

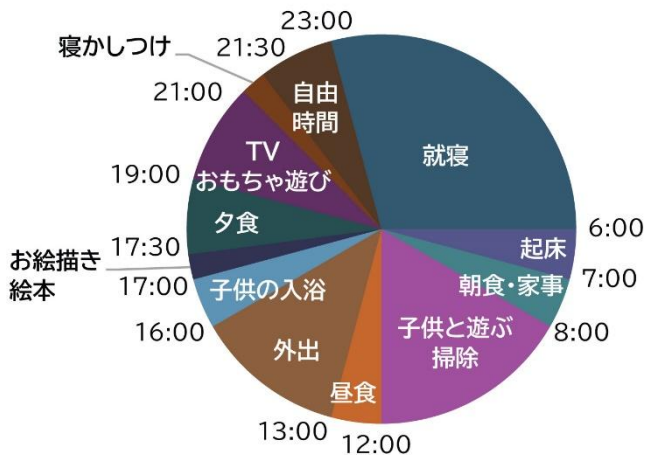
10月から隣町の金山町で働いています。車で1時間ほどの通勤時間がかかりますが、埼玉が本社の工場勤務で平日9時から17時15分まで、残業なしの好条件です。

よく「会津には仕事がない」と言う人がいますが、選ばなければ仕事はたくさんあります。実際、私も今までよりいい条件で働いています。

埼玉に居た時、私がどれだけ忙しくても妻は子育ての不満を言ったことがありません。だからこそ自分も子育てを経験しないと親として何をしてきたんだろう



ある一日のスケジュール



うと、後で悔やむと思ったんです。私のように子育てを優先できる仕事は会津にはあると思います。

<柳津町の魅力>

まず、野菜が新鮮で美味しいです。買い物は町の中まで車で行きますが、今はネットで買い物もできますし、埼玉に住んでいた時とあまり変わりません。

子どもはよく走ったり、土で遊んだりと体を動かすようになりました。車で30分ほど走れば喜多方市の室内施設がありますし、会津若松市には広い運動公園があって自分で考えて遊べる施設があるので、遊ばせる場所には困りません。

自分がそうだったように、子どもにはやりたいことをやらせてあげたいと思っています。柳津町には高校がありませんが、自分で何がしたいからどこに行きたいと決められるような子になってほしいと。そのためには外で遊んだり、おばあちゃんの手伝いをしながらいろいろ教えてもらったり、たくさんの経験が必要だと思っています。

東京は何でもあって便利ですが、畑からその日に食べる大根を掘ってくる経験はできませんよね(笑)自分が学生の頃は何もないな、と思っていた風景が今の時代の育児には最高の環境だと思えるようになりました。

田崎さんの行動歴

柳津町生まれ ⇒ 埼玉県(就職先は東京都内)
⇒ 柳津町へ

移住を検討している方にアドバイス

仕事は思っている以上にあります。
条件を付けすぎないことだと思います。



庭もある玄関の前で

現住人口 2,940人 男性／1,437人 女性／1,503人

面積 175.82平方キロメートル

標高 海拔 200.00m(柳津町役場)

最寄駅 JR只見線「会津柳津駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津坂下IC」

保・幼・こ 認可保育所 2か所

小学校数 公立 2校

中学校数 公立 1校

高校数 なし(周辺の市町にあり)

病院数 診療所 2か所 歯科 1か所

町の特徴

1,200年の歴史がある福満虚空藏菩薩を中心に栄えた門前町があり、七日堂裸まいりや稚児行列などの伝統行事が今も文化として残っている。災害にあわないようにと願いが込められた「あわまんじゅう」が名物で、山間部の西山温泉は昔も今も湯治客で賑わっている。

移住 サポート 窓口

赤べこ伝説発祥の地 柳津町役場(みらい創生課)

柳津町ホームページ

<https://www.town.yanaizu.fukushima.jp/docs/2022062100014/>

電話:0241-42-2447

メール:mirai-sousei@town.yanaizu.fukushima.jp

